

# 学生プランシート

団体名	
所属学校 <small>※複数校にまたがる場合は 代表者の所属する学校</small>	金沢工業大学

## 1 提案プランのタイトル・概要

タイトル	歯磨き嫌いをVRで解決！
プランの概要	<p>VR 歯磨きは、革新的なデジタル技術を活用して、歯磨きのプロセスを楽しく、効果的に体験することができる新しい方法です。この体験では、VR を使用して、リアルな歯磨きのシミュレーションを提供し、ユーザーが歯磨きの重要性を理解し、正しい歯磨きの方法を学ぶことができます。</p> <p>VR 歯磨きでは、まず、ユーザーはVR ヘッドセットを装着し、仮想空間に入ることによって、リアルな歯磨きの状況を体験します。仮想空間では、歯ブラシや歯磨き粉などの道具がリアルに再現され、ユーザーは自分の歯を磨くような感覚を味わうことができます。さらに、音声ガイドや視覚的な指示を通じて、正しい歯磨きの手順や技術を学ぶことができます。</p> <p>この体験では、ユーザーは自分の歯を磨くプロセスをリアルタイムで確認することができ、歯垢や汚れがどのように取り除かれるかを視覚的に理解することができます。さらに、歯磨き後の清潔な歯や口の感覚を体験することで、正しい歯磨きの重要性を実感することができるというビジネスプランです。</p>

## 2 プランを思いついたきっかけ・背景

このアイデアを思いついたきっかけは、多くの人が歯磨きを嫌うという現実に対して、技術の進歩を活用してその問題を解決できる可能性があると感じたことです。歯磨きは健康の基本であり、定期的に行うことが重要ですが、その過程が苦手である人も少なくありません。VRの技術は没入感や体験のリアリティを高めることができ、これを利用することでユーザーが楽しみながら正しい歯磨きを行うことができるのではないかと考えました。また、VRの応用が広がる中で、日常生活における健康習慣の改善にも役立てることができる可能性があります。そのため、VRを使った歯磨きの嫌いを解消するアイデアは、技術の進展と健康への関心から生まれたものです。これにより、人々が健康を維持するためのルーティンである歯磨きをより楽しく、効果的に行う手助けができるかもしれないという期待がありました。

## 3 プランの目的・ねらい

多くの人が歯磨きを苦手と感じており、その原因としては単調さや興味の欠如が挙げられます。VRを活用することで、歯磨きをより楽しく、没入感のある体験にすることで嫌悪感を減少させることを目指しています。また、VR技術の進歩を活用し、日常生活における問題解決や改善の可能性を探ることを目指しています。新しい技術を介して、日常のルーティンに革新をもたらすことが目標です。

## 4 企業の特性の活用方法

このアイデアを企業として展開する際、技術革新や医療分野の専門知識を活かし、先進的なVR歯磨き体験を提供します。顧客との綿密な関係構築を通じて、パーソナライズされたサービスを実現し、市場での差別化を図ります。戦略的なパートナーシップを組んで新しい健康ケアソリューションを展開し、企業のブランド力と認知度を高めます。

## 5 プランの対象や顧客（＝商品・サービスを販売する場合のターゲット）

VR歯磨きは、一般消費者を主なターゲットとしています。具体的には、歯磨きをより効果的かつ楽しいものにしたいと考える個人や家庭を対象としています。また、子供から高齢者まで幅広い年齢層の人々に向けて展開されることがあります。ビジネスに携わる主な関係者には、以下のような人々が含まれます。

開発チーム：VR歯磨きソフトウェアやハードウェアの開発を担当するエンジニアやデザイナー。  
マーケティングチーム：製品のプロモーションや販促活動を行うメーカーや広告代理店。  
製造部門：VR歯ブラシやデバイスの製造を担当するメーカーやサプライヤー。  
サポート担当者：製品の保守やアフターサービスを提供するカスタマーサポートチーム。  
販売店舗やオンラインショップ：製品を販売する小売店やECサイトのスタッフ。

これらの関係者が連携して、VR歯磨き事業を展開し、顧客に満足度の高い製品とサービスを提供するビジネスモデルとなっています。

## 6 プランの実現化に向けて

<p>必要な経営資源 (ヒト、モノ、 技術・ノウハ ウ)</p>	<p>ヒト：VR 開発者、デザイナー、歯科医師や専門家 モノ：VR ヘッドセット、コンピューターおよびソフトウェア 技術・ノウハウ：VR 開発技術、ゲームデザイン、医療・歯科知識</p>
<p>実現に向けて 考えられる課題 (ハードル(障 害)やリスク)と 対処方法</p>	<p>VR を使った歯磨き体験の実現には技術的な挑戦(没入感の確保、システム安定性)、コンテンツの設計とユーザー興味喚起、医療的な正確さとセーフティ確保、そして競争激化とビジネスモデルの持続可能性が課題です。これに対処するためには、最新技術の導入や品質管理の強化、ユーザーのニーズを考慮したコンテンツ開発、医療専門家との連携強化、市場調査と競争分析、そして持続可能な収益モデルの策定が必要です。</p>
<p>情報発信の方法</p>	<p>歯科医師や健康関連の団体とのコラボレーションを推進し、彼らの支持を得ることで信頼性を高めます。また、VR ハードウェアメーカーやテクノロジーパートナーとのパートナーシップを活用して、技術の発展と展開を支援します。</p>
<p>スケジュール、 今後の発展性</p>	<p>VR 歯磨き市場は将来的に拡大すると予測されており、成長率は高いと見込まれています。近年、テクノロジーの進化や健康意識の高まりにより、VR を活用した健康管理サービスが注目を集めています。子供や歯科恐怖症の人々、忙しい社会人、高齢者など、幅広い顧客層が VR 歯磨きに興味を持つ可能性があります。</p>

## 7 調査、ヒアリング結果

《記入のポイント》  
・実施した場合のみ記入